システム概要と機能説明

営業管理システム

目次

- 1. システム概要
- 2. 主要機能
- 3. データベース構造
- 4. 技術仕様
- 5. 使用方法
- 6. セキュリティ機能
- 7. 今後の拡張予定

システム概要

目的

営業活動の効率化と顧客管理の一元化

対象

営業担当者、営業管理者

特徴

Webベースのシンプルで使いやすいインターフェース

主要な管理対象

- 顧客情報管理
- 案件管理
- 営業日報管理
- ファイル添付機能

主要機能

ダッシュボード機能

- ステータス別案件数の可視化
- 営業活動の進捗状況の把握
- グラフによる直感的なデータ表示

顧客管理機能

- 顧客情報の登録・編集・削除
- 法人番号による一意識別
- 顧客との接触履歴管理

主要機能(続き)

案件管理機能

- 案件の登録・編集・削除
- ステータス管理(コンタクト~顧客化)
- 予算管理
- ファイル添付機能

営業日報機能

- 日々の営業活動の記録
- 接触種別の分類
- 次回アクションの管理
- 日報の複製機能

データベース構造

customers(顧客テーブル)

- id: 自動採番ID
- corporate_number: 法人番号(一意)
- company_name: 会社名
- contact_person: 担当者名
- email: メールアドレス
- phone: 電話番号
- address: 住所
- last_contact_date: 最終接触日
- notes: 備考

データベース構造 (続き)

projects(案件テーブル)

- id: 自動採番ID
- corporate_number: 法人番号(外部キー)
- project_name: 案件名
- status: ステータス
- start_date: 開始日
- end_date: 終了予定日
- budget: 予算
- sales_person: 営業担当
- description: 説明
- management_url: 管理用URL

データベース構造 (続き)

daily_reports(営業日報テーブル)

- id: 自動採番ID
- report_date: 日報日付
- corporate_number: 法人番号(外部キー)
- project_id: 案件ID (外部キー)
- contact_type: 接触種別
- contact_content: 接触内容
- next_action: 次回アクション
- notes: 備考
- sales_person: 営業担当

技術仕様

使用技術

• フレームワーク: Streamlit

• データベース: SQLite

• グラフ描画: Altair

データ処理: Pandas

• 認証: SHA-256ハッシュ

システム要件

- Python 3.7以上
- 必要なライブラリ(requirements.txtに記載)
- Webブラウザ

使用方法

ログイン

- 1. デフォルトユーザー: admin
- 2. デフォルトパスワード: password
- 3. 初回ログイン後、パスワード変更を推奨

基本操作フロー

- 1. 顧客情報の登録
- 2. 案件の作成
- 3. 営業日報の記録
- 4. 進捗状況の確認

使用方法(続き)

ステータス管理

営業プロセスに応じた6段階のステータス:

- 1. 01:コンタクト 初回接触
- 2. 02:コールド 冷たい見込み客
- 3. 03:ウォーム 温かい見込み客
- 4. 04:ホット 熱い見込み客
- 5. 05:顧客 成約済み
- 6. 06:デッド 成約見込みなし

セキュリティ機能

認証・認可

- ユーザー認証システム
- パスワードのハッシュ化 (SHA-256)
- セッション管理

データ保護

- SQLiteデータベースの暗号化対応可能
- ファイルアップロード時の検証
- データベースのバックアップ機能

セキュリティ機能(続き)

データベース管理

- データベースのアップロード・ダウンロード機能
- データ整合性チェック
- トランザクション処理によるデータ保護

アクセス制御

- ロールベースのアクセス制御(将来拡張予定)
- 操作ログの記録(将来拡張予定)

今後の拡張予定

短期拡張予定

- 多言語対応の完全実装
- レポート機能の強化
- メール通知機能
- カレンダー連携

中期拡張予定

- モバイルアプリ対応
- API機能の提供
- クラウド展開対応
- 高度な分析機能

今後の拡張予定(続き)

長期拡張予定

- AI機能の統合
- 予測分析機能
- 他システムとの連携
- マルチテナント対応

運用改善

- パフォーマンス最適化
- UI/UXの改善
- ユーザビリティの向上

まとめ

営業管理システムの価値

• 効率化: 営業活動の一元管理

• 可視化: 進捗状況の明確化

• 継続性: 営業履歴の蓄積

• 拡張性: 将来の機能追加に対応

導入効果

- 営業プロセスの標準化
- 顧客情報の共有化
- 営業活動の可視化
- 意思決定の迅速化

ご質問・お問い合わせ

サポート情報

- **GitHub Issues**: https://github.com/MotoyaTakashi/eigyo/issues
- 顧客資料: Google Drive

技術サポート

- システムの導入・運用について
- カスタマイズについて
- 機能追加について

ありがとうございました

営業管理システム

より良い営業活動をサポートします

本資料は営業管理システムの概要説明資料です